



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	4,900	7.1	132	△44.5	133	△46.7	95	△49.9
2018年9月期第2四半期	4,576	6.8	238	251.0	250	335.9	191	11.5

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 88百万円 (△56.5%) 2018年9月期第2四半期 202百万円 (10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	37.52	37.45
2018年9月期第2四半期	75.00	74.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第2四半期	6,358	3,040	47.7	1,187.70
2018年9月期	6,332	2,990	47.1	1,168.16

(参考) 自己資本 31年9月期第2四半期 3,034百万円 30年9月期 2,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2019年9月期	-	0.00	-	-	-
2019年9月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,010	14.2	107	△68.3	104	△68.8	57	△75.7	22.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	2,572,300株	2018年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	17,161株	2018年9月期	17,161株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	2,555,139株	2018年9月期2Q	2,550,631株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和歴から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出において一部弱さがみられるものの、雇用・所得環境が改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦を背景とした中国経済の減速や英国のEU離脱問題など、海外における経済動向と政策に関する不確実性が懸念されることから、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産は、スマートフォン市場の生産調整、中国経済の減速等により前年を下回りました。また、貴金属・銅の価格は主に米国金利の上昇、中国経済の減速等により前年を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、前述の通り、主な取引先である電子部品・デバイスメーカーの減産の影響により同分野からの貴金属の取扱量が減少し、貴金属・銅の価格も前年同四半期を下回りました。一方で、他の分野からの貴金属取扱量が増加したことにより増収となったものの、価格低下により減益となりました。以上によって、売上高は4,900百万円（対前年同四半期7.1%増）、営業利益は132百万円（同44.5%減）、経常利益は133百万円（同46.7%減）。親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円（同49.9%減）となりました。

当社では、企業体質強化のため、既存事業の強化と効率化及び新たな技術開発に取り組んでおります。既存事業では、既取引先の深耕や新規開拓と共に、貴金属材料の供給や光触媒の販路拡大を進めるほか、製造工程の自動化・ロボット化等の効率改善に取り組みました。レアメタル事業では、リチウムイオン電池等に使用されるレアメタルのリサイクル及び原料化に注力しており、第3四半期からの試作量産品出荷に向けての体制構築に取り組みました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間よりセグメント利益の算定方法を変更しております。これは、「その他」に含まれる「分析事業」との内部取引について、各セグメントに費用を配賦しておりましたが、各セグメントの業績を適切に把握するため、分析事業とのセグメント間取引として処理する方法に変更しているものです。なお、前年同四半期比は、変更後の方法により計算しております。

(貴金属事業)

前述の要因から、販売価格は前年を下回りましたが、貴金属全体での取扱量増加により、売上高は増加しました。セグメント利益は販売価格が下落したことで減少となり、売上高は4,461百万円（対前年同四半期8.0%増）、セグメント利益は97百万円（同49.0%減）となりました。

(環境事業)

主力製品である銅ペレット及び無機薬品の販売数量は前期を上回りましたが、銅の販売価格が前期を下回り、売上高は379百万円（同3.8%減）、セグメント利益は24百万円（同44.0%減）となりました。

(システム事業)

品質検査データ管理システムへの関心の高まりを受け、新製品の開発及び販売促進に注力した結果、売上高は50百万円（同14.6%増）、セグメント利益は9百万円（同1.2%減）となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等の売上高は129百万円（同4.2%増）、セグメント利益は2百万円（同59.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、6,358百万円となりました。

主な要因は、棚卸資産が216百万円増加し、その他流動資産が180百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、3,317百万円となりました。

主な要因は、借入金が91百万円減少し、未払法人税等が33百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて49百万円増加し、3,040百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が57百万円増加し、その他有価証券評価差額金が7百万円減少したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、553百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、221百万円となりました。(対前年同四半期9.2%減)

これは、主な収入要因として、税金等調整前四半期純利益が127百万円、減価償却費が119百万円あり、主な支出要因として、たな卸資産の増加額が217百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、136百万円となりました。(同0.6%減)

これは、主な支出要因として、有形固定資産の取得による支出が89百万円、無形固定資産の取得による支出が37百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、109百万円となりました。(同8.5%減)

これは、主な支出要因として、長期借入金の返済による支出が150百万円、配当金の支払額が38百万円あり、主な収入要因として、短期借入金の純増額が83百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績や足元の事業環境を踏まえ、2018年11月9日に公表した予想数値を下表のとおり修正しております。詳細につきましては、2019年4月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、2019年9月期配当につきましては、安定配当を継続的に行うことを重要政策と位置付けており、2018年11月9日に公表のとおり1株当たり15円を予定しております。

2019年9月期 通期連結業績予想数値 (2018年10月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,743	248	236	180	70.45
今回修正予想(B)	10,010	107	104	57	22.33
増減額(B-A)	1,267	△141	△132	△123	
増減率(%)	14.5	△56.9	△55.9	△68.3	
(ご参考)前期実績(2018年9月期)	8,765	337	333	234	91.98

上記は現時点で把握可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正が必要な場合は速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,210,638	1,184,458
受取手形及び売掛金	424,034	454,052
電子記録債権	28,843	10,373
商品及び製品	552,179	641,709
仕掛品	379,935	492,208
原材料及び貯蔵品	180,429	194,949
その他	242,481	62,062
流動資産合計	3,018,542	3,039,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,387,044	2,379,453
減価償却累計額	△1,135,528	△1,173,490
建物及び構築物 (純額)	1,251,516	1,205,962
機械装置及び運搬具	2,463,007	2,502,922
減価償却累計額	△2,061,768	△2,085,427
機械装置及び運搬具 (純額)	401,239	417,494
土地	1,240,067	1,240,067
リース資産	29,559	29,559
減価償却累計額	△23,980	△25,069
リース資産 (純額)	5,579	4,489
建設仮勘定	65,510	93,808
その他	204,950	205,450
減価償却累計額	△173,082	△177,553
その他 (純額)	31,867	27,896
有形固定資産合計	2,995,780	2,989,718
無形固定資産	23,121	54,906
投資その他の資産		
投資有価証券	55,268	44,990
繰延税金資産	387	476
退職給付に係る資産	94,167	91,572
その他	145,597	136,660
投資その他の資産合計	295,420	273,700
固定資産合計	3,314,322	3,318,324
資産合計	6,332,864	6,358,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,479	196,979
短期借入金	1,060,255	1,121,103
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
リース債務	2,354	2,354
未払法人税等	545	33,784
借入金地金	328,868	339,675
賞与引当金	105,761	103,238
その他	192,624	169,701
流動負債合計	2,060,889	2,166,836
固定負債		
長期借入金	899,421	747,359
リース債務	3,601	2,424
繰延税金負債	111,169	114,508
長期未払金	212,226	228,682
資産除去債務	49,106	49,555
その他	5,804	8,241
固定負債合計	1,281,329	1,150,771
負債合計	3,342,218	3,317,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	354,211	354,211
利益剰余金	2,117,513	2,175,047
自己株式	△9,546	△9,546
株主資本合計	2,966,473	3,024,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,588	16,945
繰延ヘッジ損益	△4,068	△6,258
為替換算調整勘定	△135	1,392
退職給付に係る調整累計額	△2,040	△1,354
その他の包括利益累計額合計	18,342	10,725
新株予約権	1,328	1,328
非支配株主持分	4,500	4,468
純資産合計	2,990,646	3,040,530
負債純資産合計	6,332,864	6,358,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	4,576,350	4,900,682
売上原価	3,659,401	4,060,256
売上総利益	916,949	840,426
販売費及び一般管理費	678,131	707,938
営業利益	238,817	132,487
営業外収益		
受取利息	54	138
受取配当金	4,060	1,335
受取賃貸料	4,346	2,477
受取和解金	3,000	22,000
為替差益	11,331	—
その他	2,959	4,282
営業外収益合計	25,752	30,234
営業外費用		
支払利息	10,047	9,372
為替差損	—	12,770
その他	4,108	7,010
営業外費用合計	14,155	29,153
経常利益	250,413	133,567
特別損失		
固定資産除却損	71	5,664
特別損失合計	71	5,664
税金等調整前四半期純利益	250,342	127,903
法人税、住民税及び事業税	39,089	25,327
法人税等調整額	17,351	6,837
法人税等合計	56,440	32,165
四半期純利益	193,902	95,737
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,613	△122
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,289	95,860

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	193,902	95,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,281	△7,642
繰延ヘッジ損益	123	△2,189
為替換算調整勘定	△277	1,619
退職給付に係る調整額	610	686
その他の包括利益合計	8,737	△7,526
四半期包括利益	202,639	88,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,137	88,243
非支配株主に係る四半期包括利益	2,501	△32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	250,342	127,903
減価償却費	111,319	119,108
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,448	△2,480
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,673	3,575
受取利息及び受取配当金	△4,115	△1,474
受取和解金	△3,000	△22,000
支払利息	10,047	9,372
為替差損益 (△は益)	△15,909	7,832
固定資産除却損	71	5,664
売上債権の増減額 (△は増加)	16,225	△13,165
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△188,225	△217,542
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,210	26,927
その他	154,803	147,435
小計	365,893	191,154
利息及び配当金の受取額	5,404	1,474
利息の支払額	△10,751	△7,948
法人税等の支払額	△121,000	△1,303
法人税等の還付額	1,555	16,203
和解金の受取額	3,000	22,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,101	221,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△129,397	△89,442
有形固定資産の除却による支出	—	△4,834
無形固定資産の取得による支出	△2,901	△37,377
その他	△4,693	△4,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,992	△136,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	28,965	83,363
長期借入金の返済による支出	△101,281	△150,144
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△67	—
自己株式の処分による収入	4,637	—
配当金の支払額	△38,209	△38,327
その他	△4,136	△4,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,091	△109,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,091	△1,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,891	△26,180
現金及び現金同等物の期首残高	627,183	579,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	618,292	553,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,132,750	394,010	44,160	4,570,921	5,429	4,576,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	119,341	119,345
計	4,132,754	394,010	44,160	4,570,925	124,770	4,695,696
セグメント利益	191,328	42,973	9,213	243,515	6,897	250,413

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,461,535	378,983	50,602	4,891,121	9,561	4,900,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	88	—	88	120,424	120,512
計	4,461,535	379,071	50,602	4,891,209	129,986	5,021,195
セグメント利益	97,556	24,079	9,105	130,742	2,824	133,567

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「その他」に含まれる「分析事業」との内部取引については、各セグメントに費用を配賦しており
ましたが、各セグメントの業績を適切に把握するため、第1四半期連結会計期間より、分析事業とのセグメ
ント間取引として処理する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の利益又は損失の計算方法に
より作成したものを記載しております。